

S.R.C. ニュース 2017年冬号

寒い季節になりましたね。みなさん、お元気で過ごしのことと思います。

今年も『S R C』は新しいお仲間が6人も増えました。ほんとに嬉しいです。来年は25年目ですので、お子さんたちが巣立って家族が減ったご家庭もありますが、子育て真最中のご家庭が入って下さって続いていくことありがたいです。

1月29日の新年会、6月18日の田植え、10月1日の稲刈りとすべてお天気に恵まれて楽しむことができました。15年前から参加している恩田校区の子どもたちは、今年からお昼前解散になったのに、お弁当持参で作業後もしっかり自然と遊んで、親御さんたちと楽しく過ごしていました。田植え稲刈りともかき米のお接待があって、子どもたち大喜びでした。生産者のみなさん、ありがとうございました。

また、みんなで作ったお米を10キロほど恩田校区の文化祭の福引賞品としてご寄付いただきました。ありがとうございました。

これからも安全で心のこもったお米の産直会『S R C』の輪が大きくひろがっていきますように。みなさん、どうぞよろしくをお願いします。

『えんどうまめ』が今までお米を送っていた南相馬市寺内第一仮設住宅集会所が3月末で閉鎖となり、和みサロン「真こころ」はカリタス南相馬というカトリックの団体の建物を借りて集まられることになりました。ばらばらの場所から集まってこられるので、お米の支援は終えました。別の形で被災者に寄り添いたいと思っています。

『えんどうまめ』は5月18日と10月5日に、ケニアのナイロビにあるアフリカ最大のスラムキベラスラムの寺子屋マゴソスクール応援交流会をユースで行いました。5月にはダン校長先生と早川千晶さんと大西匡哉さんをお迎えました。翌日は昨年児童会で募金により組んでくれた恩田小学校を訪問し交流されました。オギラ教頭先生も来日されていたのですが、ケニアで交通事故にあわれて足を骨折され、その治療が不十分でこのままでは歩けなくなるとわかって、急遽日本で再手術され療養されました。ご一行の帰国時にはずいぶんとよくなられていました。現在はすっかり元通りで安心しています。10月は大西さんとマサイ族の戦士のジャクソンさんとその第二夫人の永松真紀さんをお迎えました。レポートはえんどうまめのホームページをご覧くださいね。

またチェルノブイリ被曝者団体ゼムリャキとマゴソスクール支援の春のコンサートを4月23日にユースで行いました。佐藤華純さんのソプラノコンサートで、伴奏はS R Cのお仲間の蘆田育子さん。楽しくてあたたかい素敵なコンサートでした。

そして、12月17日14時からユースで鹿野露馨バイオリンコンサート～心と心をつなぐ、響きの懸け橋～を行います。鹿野さんは、以前えんどうまめのチャリティコンサートで演奏して下さった石井啓一郎先生啓子先生ご夫妻のお弟子さんで、ピアノ伴奏の原田さんもカルテットのバイオリン重見さん、ビオラ江波さん、チェロ永野さんもみなさん石井ご夫妻のお弟子さんです。どうぞ聴きにおいでください。チケットはありません。会場でお気持ちを募金箱に入れてくださいね。

ご寄付は『えんどうまめ』下記の口座をお願いいたします。ゆうちょ銀行口座をお持ちの場合は右記のどちらの方法でも無料で送金できます。

【ゆうちょ銀行口座】

15500-30097001 ヘイワラネガウクサノネグループエンドウマメ

【郵便振替口座】

01340-7-45141 平和を願う草の根グループ「えんどうまめ」

今年最後の配達 は 12月26日(火)、来年の配達 は 1月9日(火) からです。

お米代をお納めください

同封の振込用紙か直接現金で、12月25日までに三浦さんに、お米代と事務費500円を、また精米と配達をお願いされた方は精米料・配達料をお納めください。

お米の袋は何度も使いますので、

お返しくささい

丈夫な袋ですので、何度もつかえます。ついでの便で三浦さんまで返却してください。

